

【軽井沢こぶし教育】

心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成
こころ豊かに ぶんかを育て しぜんを愛する

【地域の願い】

- ・自然・歴史を活かし、心身共にたくましくなってもらいたい。
- ・仲間と共に、見方・考え方も身につけてほしい。
- ・自分から表現する子どもになってほしい。



【校長の願い】

- ・すべての子どもが物語の主人公になれる学校
- ・対話と協力を大切に、みんなで作る学校
- ・挑戦を大切に、成長し続ける学校

【軽井沢町ICT教育ビジョン】

- ・協力し進める。
- ・自分で学ぶ力をつける。
- ・自己肯定感をさらに高める。
- ・一人一人にあった学び方を追求する。
- ・校務DX化を推進する。

【相談窓口】

- 校長室
 - 保健室
 - 校長室
 - 保健室
 - 職員室
- ◎意見箱の設置（昇降口）
◎学校開放（誰でも柔軟に授業の参観）

【学校教育目標】



じぶんでかんがえ みんなでつくる



【目指す子どもの姿】

「自律をめざして探究・共生する子ども」
児童会スローガン「みんなが輝ける西部小」

自律

よさを求め、
粘り強く取り組む子ども

自己決定

自己調整の
ある学び

自律

～よさを求め、
粘り強く取り組む子ども～

子どもたちに任せ、委ね、創る環境を設定し、主体的に取り組む力の育成。

探究

～自ら問いをもち、考え、
行動する子ども～

- ①子どもたちの興味関心を大切にしながら、答えのない間にも取り組む、探究心の育成。
- ②子どもと教師が共に地域に出て、専心して取り組む、生活科・総合的な学習の時間の充実。
- ③軽井沢のひとやことを知り、自分の夢や得意なことを見つけ、楽しく生きるためのヒントを得る時間の設定。【お仕事ゼミ、ゲスト講師】
- ④自らの興味・関心にもとづいた学びの時間の設定。【個人探究の時間】

共生

～お互いを尊重し、自分や他者を
大切にできる子ども～

- ①自分で判断し、学校生活に主体として参画する力を育む。
- ②対話を通じた合意形成の場の設定。
- ③地域や保護者との横のつながりを通して、夢をもち、ふるさとや母校を愛する心の育成。【軽井沢学・軽井沢ゼミ】

共生

他者意識→対等性→対話

相手を意識し、対等に向き合い、対話によって学びを深める

～あいてとはじまる学び～

【令和8年度学校づくりの重点】